

キャンプインストラクター養成講習 開催要項



×



×



YMCA 総合研究所は

日本キャンプ協会課程認定団体 Wilderness Education Association Japan 団体メンバー Leave No Trace Japan 団体エデュケーショナルメンバーです

- 主催：YMCA 総合研究所
後援：(公社) 日本キャンプ協会
日時：2025年7月19日(土) 10時集合～21日(祝) 18時解散 2泊3日
会場：六甲山YMCA、六甲山城 〒657-0101 神戸市灘区六甲山町北六甲 875
対象：キャンプや自然体験活動の指導者を志す 18歳以上の方
定員：12名(最少催行6名) 先着順
受講料：24,000円
資格：すべての講習を満了し修了試験に合格された方は、キャンプインストラクター資格を取得することができます
キャンプインストラクター資格継続には毎年度の更新が必要です
年会費 3,000円+更新料 1,000円+税+都道府県協会費 2,000円=6,000円+税
受講にはテキスト「キャンプ指導者入門」第5版(日本キャンプ協会編) 2,200円が必要です
資格取得には登録諸経費 15,300円が必要です
締切：2025年6月27日(金) 17時
キャンセル規定を設けています。申込時にご確認ください
申込：申込フォームよりお申し込みください
問合せ：outdoor-training@osakaymca.org または 080-9064-4325 (公用携帯)

キャンプインストラクターとは

- ・(公社) 日本キャンプ協会が認定するキャンプ指導者資格です
- ・キャンパー個人やグループに対して、キャンプのプログラム等の指導を行う役割を担うことができる指導者です
- ・テキスト「キャンプ指導者入門」を用い、理論10時間、実技10時間を学習します
- ・延べ15万人の指導者を養成した独自のカリキュラムによる、スキルとキャンプや集合型研修の強みや効果、参加者への対応、リスクマネジメントなどについての知識をもっています

YMCAが実施する講習の特徴

- ・指導法、環境倫理、安全のグローバルスタンダード有資格認定指導者が全人的に指導します
- ・キャンプ場での理論と野外生活技術を身につけます
- ・野営地への野外遠征で1泊し国際基準の野外スキル(WEA6+1)を体験します
- ・六甲最高峰(931m) 経由有馬温泉まで(12km)のトレッキングで六甲山の自然を満喫し、キャンプ指導者としての知識と技術を実践的に習得します
- ・WEAカリキュラム(WEA6+1)を通じて、野外遠征の魅力を人に伝えることができます
- ・WEAのアウトドアリーダーエクスペリエンス修了証(無料、期限なし)を取得できます
- ・1年間のWEAJの準会員の権利(実質5,000円の価値)が得られます
- ・環境倫理プログラムリーブノートトレイスを体験しワークショップ修了証を取得します
- ・食事はグループ調理と受講者自身が食材を持参するソロクッキングです
- ・野外装備は持参または無料で貸し出しします
- ・講習終了後も専用サイトで学びをサポートし、救急法やリーブノートトレイス講習の案内や指導機会の提供、D2、D1取得への支援をします



内容

- A. キャンプインストラクター養成 — 日本キャンプ協会
1. 理論 キャンプの特性、キャンプの対象、キャンプの指導、キャンプの安全
 2. 実技 様々なアクティビティ、キャンプの生活技術、キャンプの安全
- B. アウトドアリーダーエクスペリエンス — Wilderness Education Association Japan
国際基準の野外スキル(WEA6+1)の体験と理解 A.-2.を通して
- C. リーブノートトレイスワークショップ — LEAVE NO TRACE Japan
リーブノートトレイスの理解とプログラム体験 事前準備、A.-1., 2., 講習全体を通して

アクセス 最も便利なアクセスは自家用車になります

【自家用車】六甲山YMCA 駐車場をご利用いただけます（無料）

- ・ カーナビゲーションで六甲山YMCA を検索してください
- ・ 六甲山南側から来られる場合、以下ご注意ください
- ・ 旧六甲有料道路・表六甲線→丁字ヶ辻・右折 100m 左側にYMCA 看板があります

※旧六甲有料道路入り口には「有料道路」とありますが途中まで無料です

※六甲山頂と三田・有馬の分岐では、左方向 六甲山頂 へお進みください

※トンネルに入ると有料道路で道間違えです。その場合は裏六甲線で六甲山上へ来れます

【タクシー】公共交通機関でお越しの方は、阪急六甲駅からタクシーの利用をおすすめします

- ・ 最寄 阪急六甲駅～六甲山YMCA 約 25 分 2,600 円～3,300 円程度

【バス・ケーブルカー】午前 10 時の集合時間に間に合うよう各運行会社 HP 等でご確認ください

- ・ バス：16 系統（神戸市） 六甲ケーブル下行 阪急六甲駅→六甲ケーブル駅下 220 円
- ・ ケーブルカー：六甲ケーブル下駅→六甲ケーブル山上駅 1,200 円
- ・ 山上バス 六甲摩耶スカイシャトルバス：六甲山上駅→丁字ヶ辻バス停下車 210 円
- ・ 丁字ヶ辻バス停から六甲山YMCA まで徒歩 1 分

撮影について

- ・ 講習中の様子を講師が撮影し、YMCA、日本キャンプ協会、Leave No Trace Japan、Wilderness Education Association Japan の広報に利用する場合があります
- ・ 受講者の皆様の撮影については全員の同意が得られた場合可能とします
- ・ 講習の全録画、全録音、リアルタイムでの SNS 等アップは禁止します

ルールとマナー

- ・ 講習会中は終日禁煙です
- ・ 講習会中の外出は原則できません
- ・ 指導者にふさわしい服装、言動をお願いいたします

宿 泊

- ・ 宿泊はテント泊になります。装備一式をご利用いただけます。
- ・ 寝袋、マットをお持ちの方は持参して自分のものをご利用いただいても結構です

入 浴

- ・ シャワールームをご利用いただけます
- ・ リンスインシャンプー、ボディソープ、ドライヤーが備え付けであります
- ・ 2 日目トレッキング後の有馬温泉での入浴も可能です（希望者各自で）

そ の 他

- ・ スマートフォン等電波状況は ドコモ◎ au○ Softbank△ です
- ・ 周辺には小さな商店が 1 軒ある以外、コンビニエンスストアなどはありません
- ・ キャンプの事前準備、キャンプ中の行動は Leave No Trace の 7 つの原理を参考にします。

食 事

- ・ 1 日目昼食（飲み物含む）は、持参になります。お弁当と飲み物を持参してください
- ・ 1、2 日目夕食は、グループ自炊となります。材料は提供します
- ・ 2、3 日目朝食と 3 日目昼食はソロ自炊となります。食材、調味料等全てご持参ください
- ・ シングルバーナー、ガス、コッヘル（1～2 人用の鍋）を貸し出します。お持ちの方は持参して自分のものをご利用いただいても結構です
- ・ おいしく必要なカロリーが摂取でき、調理が簡単で、環境への負荷がミニマムになることを考えて、メニューと食材を決めてください。なるべくコッヘル 1 つで調理できると良いですが、お湯だけ沸かしてレトルトだけ、カップラーメンだけ、缶詰めだけはご遠慮ください
- ・ 水道はあります／水汲みには持参するナルゲンボトル等を利用してください
- ・ 保冷が必要な食材は、施設内冷蔵庫をご利用いただけます。記名したビニール袋などをご準備ください
- ・ お茶、コーヒー等の飲み物をご持参ください。持参する食材と同じく、ごみを出さない／減らす／適切に処理することを考慮したものをお選びください
- ・ 3 日目トレッキング中の昼食はトレイルフードとなります。トレッキング中に補給する栄養価が高く、軽量で腐りにくいもの（エネルギーゼリー、アメ、塩分タブレット等）をご準備ください

食事一覧

	1 日目	2 日目	3 日目
朝食	-	ソロ自炊（持参）	ソロ自炊（持参）
昼食	弁当（持参）	トレイルフード（持参）	ソロ自炊（持参）
夕食	グループ自炊（提供）	グループ自炊（提供）	

食材の購入・食事作り、メニュー例については、事前に以下の動画（QRコードより）をご覧ください。LEAVE NO TRACE の実践となります。「山飯」等で検索すると他の情報を得られます。

ゴミを出さないために

[#3 キャンプゴミの処理 キャンプでゴミを出さない処理の方法](#)



参考メニュー

[トマトソースパスタの作り方](#)



[ホワイトソースパスタの作り方](#)



[パンの作り方](#)



[おかゆの作り方](#)



持ち物

✓	品目	備考 LNT 7 原則 1 事前の計画と準備
	テキスト「キャンプ指導者入門」	※当日配布します
	帽子	雨天時はキャップが便利です。つばがあるものを
	Tシャツ（半そで、長袖）	トレッキングでは着替えが必要となります
	トレッキング用長ズボン	ハーフパンツとタイツでのトレッキング可
	トレッキング用靴下	ない場合は通常の靴下で
	トレッキングシューズ（運動靴可）	ハイカットでなくても大丈夫です
	リュックサック（小）	トレッキングの際に荷物をいれて使います
	雨具（上下セパレート）	
	ヘッドライト（予備バッテリー含む）	両手が使えるヘッドライトが望ましいです
	ロープ（長さ 2m,太さ 6mm 以上）	ロープワーク用
	軍手	野外炊事用 綿 100% 滑り止めゴムのないもの
	防寒着	標高 800 程の場所で活動します フリース、薄手ダウン等
	筆記用具	
	スマートフォン	
	スマートフォン用バッテリー	
	タオル	
	洗面用具	リンスインシャンプー、ボディークリームはあります
	ビニール袋 45ℓ	荷物の防水やごみ入れに
	ジップロック（S,M,L）	トレイルフードを入れたりします
	1ℓ以上のウォーターボトル	ナルゲンボトルがのぞましい
	ファーストエイドキット	
	マッチ（ライター）	
	布巾、雑巾	
	ナイフ（調理用）	
	まな板	
	はし、フォーク、スプーン	使い捨てでないもの
	ゴムへら	
	食器（お皿、お椀など）	
	弁当（1日目昼食）	必ずご持参ください
	自炊食材・調味料（3食分）	前述の資料を確認の上ご持参ください
	トレイルフード（トレッキング昼食）	前述の資料を確認の上ご持参ください
	保険証	
	受講料、テキスト代、登録料	合計 37,500 円 ※現金のみ 釣銭のないように
	交通費	六甲有馬ロープウェー（復路）1,400 円 山上バス 230 円

※その他、必要と思うものがあればご持参ください

以下のサイト（動画）を必ずご覧ください、その上で各自工夫してご準備ください

[【#1 キャンプの準備の仕方】](#)

[登山やキャンプの事前の計画と準備の仕方](#)



[【#2 登山とテント泊】](#)

[自然に影響の少ない山の登り方とテント設営](#)



プログラム（予定）

1日目 7月19日（土） 日出：04:53 日入：19:17 月齢：23.7 月出：24:00 月入 13:14		
10:00	集合・受付 開講式 オリエンテーション 人間関係作り 環境倫理	実技【さまざまなアクティビティ】(1.5) ・アイスブレイク ・ASE 理論【キャンプの特性】(0.5) ・環境倫理
12:00	昼食（持参弁当）	
13:00	講義「キャンプの特性」	理論【キャンプの特性】(1.5) ・意義、目的、歴史 ・現代社会とキャンプ ・体験学習法
15:00	生活環境づくり（テントサイト）	実技【キャンプの生活技術】(1.5) ・ロープワーク ・テント設営
16:30	野外炊事	実技【キャンプの生活技術】(1.5) ・野外炊事 グループ炊事 理論【キャンプの指導】(0.5)
18:30	夕食 片付け	理論【キャンプの安全】(0.5) 実技【キャンプの安全】(0.5) ・危険予知とその対処
19:30	情報交換会	実技【さまざまなアクティビティ】(0.5) 理論【キャンプの安全】(0.5) ・キャンプファイヤー
20:30	入浴	
21:30	就寝（テント泊）	

※天候等により予定を変更する場合があります

プログラム（予定）

2日目 7月20日（日） 日出：4:54 日入：19:16 月齢：24.7 月出：---:-- 月入 14:18		
5:00	起床 朝食 撤収	実技【キャンプの生活技術】(1.0) ・ 野外炊事 ソロ炊事 ・ テント撤収
8:00	トレッキング出発	指導・環境・安全総合演習 実技【さまざまなアクティビティ】(3.0) ・ トレッキング トレイルフード
11:00	六甲山最高峰 行動食	理論【キャンプの指導】(1.0)
13:00	有馬温泉着 自由時間	理論【キャンプの対象】(0.5) 実技【キャンプの安全】(0.5) 理論【キャンプの安全】(1.0)
15:10	有馬温泉ロープウェー駅発	運賃 1030 円（各自）
15:22	山頂駅着 山頂駅バス発	運賃 220 円（各自）
15:43	記念碑台下車	
15:50	六甲山 YMCA 着 休憩	
16:30	野外遠征 生活環境づくり（オフサイト） テント設営	実技【キャンプの生活技術】(0.5) 理論【キャンプの指導】(1.0) ・ ロープワーク ・ テント設営 ・ 野外炊事 グループ炊事
17:30	野外炊事	実技【キャンプの生活技術】(1.5) ・ 野外炊事 ソロ炊事
18:30	夕食 片付け	理論【キャンプの指導】(0.5) 理論【キャンプの安全】(0.5) 実技【キャンプの安全】(0.5)
20:00	ミーティング	
21:00	就寝（テント泊）	

※天候等により予定を変更する場合があります

プログラム（予定）

3日目 7月21日（祝） 日出：4:55 日入：19:16 月齢：25.7 月出：0:43 月入：16:11		
6:00	起床 野外炊事	実技【キャンプの生活技術】(1.5) ・ 野外炊事 ソロ炊事
7:30	野外遠征	実技【キャンプの生活技術】(0.5) ・ 撤収
9:00	講義「キャンプの対象」	理論【キャンプの対象】(3.0)
12:00	昼食	実技【キャンプの生活技術】(1.0) ・ 野外炊事 ソロ炊事
13:00	片付け	理論【キャンプの指導】(0.5) 実技【キャンプの生活技術】(0.5)
14:30	講義・演習「まとめ」	
15:30	自習時間	
16:15	修了試験	筆記試験 30問／1時間
16:45	事務手続き 閉校式	
18:00	終了	

※天候等により予定を変更する場合があります

LNT 7 原則

原則 1 事前の計画と準備 (Plan ahead and prepare)

- ・行き先のルールや注意することを知ろう
- ・悪天候や緊急時に備えよう
- ・ピークシーズンや混雑する時間帯を避けよう
- ・できるかぎり少人数のグループで活動しよう
- ・できる限りゴミが少なくなるようにパッキングしよう
- ・標識に頼らずに地図とコンパスを使おう

原則 2 影響の少ない場所での活動 (Travel and camp on durable surfaces)

- ・指定地、岩、砂、雪、乾いた草など頑丈な土地の上で活動しよう
 - ・キャンプサイトは水辺から 60m 以上離れたところを見つけよう
 - ・よいキャンプサイトは作るのではなく見つけよう
- よく使われている場所では
- ・指定のトレイルやテントサイトを利用しよう
 - ・トレイルがドロドロでも真ん中を歩こう
 - ・キャンプサイトは植生が少ない場所にできる限り小さく設営しよう
- ほとんど使われていない場所では
- ・人が入っていないところではキャンプサイトや歩行を分散させよう
 - ・インパクトが始まりかけた場所は避けよう

原則 3 ゴミの適切な処理 (Dispose of waste properly)

- ・すべてのゴミや食べかすを持ち帰ろう
- ・キャンプサイトや休憩場所を離れる時にゴミを確認しよう
- ・トイレは水辺、テントサイト、トレイルから 60m 離れたところを見つけよう
- ・トイレは 20cm 程度穴を掘って行き、終わったらしっかり埋めよう
- ・トイレトペーパーは持ち帰ろう
- ・食器は水辺から 60m 離れたところで、必要最小限の天然洗剤で洗おう
- ・食べかすはこし網で取り除こう

原則 4 見たものはそのままに (Leave what you find)

- ・文化的、歴史的遺跡は触れずに見るだけにしよう
- ・石、植物等すべての自然物は置いて帰ろう
- ・外来生物を運んだり、持ち込んだりするのを避けよう
- ・木で何かを作ったり穴を掘ったりしないようにしよう
- ・キャンプサイトはもとどおりにしてから出発しよう

原則 5 最小限のたき火の影響 (Minimize campfire impacts)

- ・できる限りストーブを使うようにしよう
- ・たき火をするときは焚き火台やマウンドファイヤーを使おう
- ・たき火の大きさは必要最小限にしよう
- ・薪には手で折れる程度の落ちている枝だけを使おう
- ・すべての薪が灰になるまで燃やそう
- ・灰は完全に消火してからバラまこう

原則 6 野生動物の尊重 (Respect wildlife)

- ・野生動物は遠くから観察しよう
- ・野生動物にエサをあげないようにしよう
- ・食べ物に野生動物が近づかないようにしよう
- ・ペットはいつもつないでおくか、家に置いてこよう
- ・子育てや巣作りなどをしている野生動物には近づかないようにしよう

原則 7 他のビジターへの配慮 (Be considerate of other visitors)

- ・他のビジターの体験の質を保とう
- ・他のビジターとスペースを譲り合おう
- ・他のビジターとすれ違うときは登りの人を優先しよう
- ・キャンプや休憩はトレイルから離れて行おう
- ・自然を静かに楽しもう